

第5回 MORTAR800シリーズ レッドミラージュ重装型 (ゼネラルプロダクツ)の巻



前回に引き続きモーターヘッド(以下「MH」と略記)の登場です。今回は「最強の幻像」とレッドミラージュ、「見た時は死ぬ時」だの「手掛けた時は留年する時」だの物騒なこと極まりないロボットです。「FSS」第1話にて65時間38分の死闘の末ブラック・グランドに勝利し読者に強烈な印象を刷り込んだレッドミラージュは、MHのシンボルでありそれこそ星の数ほど立体化されてきました。その中であって今回取り上げるゼネプロのレッドミラージュ、これは厳密にはガレージキットでは有りません。契約上の都合でキーホルダー等と同列のキャラクターグッズとして扱われていました。尚、シリーズ名の「MORTAR800」は第1段のレッドミラージュ(軽装版・これのみ1/350)を800円で発売したことに由来するものです。当時1万円を覚悟しなければならなかったMHの立体が、たとえミニサイズであろうとも1000円以下で入手出来るという信じられない状況はファンの注目を集め、続々と他のMHが発売されていったのです。当初は可能な限り一体成型(この辺り、伝統的なメタルフィギュアやチェスピース的なコンセプトが感じられる)がなされていましたが、徐々に部品数が増え価格も少しずつ上昇していきました。

このレッドミラージュについても少しコメントすると、前述のシリーズ第1段との差別化が計られており、フレームユニット装備の重装型でのキット化です。フレームランチャーを構えた力強いポーズでも倒壊しないように、足首は大き目のベースと一体になっています。部品分割は初期のキットよりかなり細かくなっていてスカートも別パーツです。また、シリーズでこのレッドミラージュのみ箱入りであることから開発側の意気込みがうかがえます。



このシリーズ、低価格故に数多く集めるのも容易ということからか、パリエーション展開が積極的に推進されていました。レッドミラージュだけでなく主役のKOGもバスター砲の有無で2種類、ジュノーは当然初期型と後期型、ベルリンは一般型(グリーン)とトリオ騎士専用(ホワイトバイオレット)という具合に。そして更に左のような拡張セットが5種類存在したのです。これらのセットを用いることで後期型のブラックグランドやコーラス版のレッドミラージュ(既にファンの方でない

キットデータ

メーカー	ゼネラルプロダクツ
スケール	1/300
材質	ホワイトメタル
当時価格	3000円 (税込)

話題に付いて来て居られないような気がしますが、ブーメランユニット装備型のレッドミラージュまでもが再現可能となります。ブーメランユニットに至っては**全スケール通しても初の立体化**であり、しかも収納状態(右)と展開状態(左)の両方が発売された(両方購入している自分もどうかと思うが)という**熱いガレージキット魂**を感じずにはられません。このシリーズではレッドミラージュの後にワンダースカツが予定されていたのですが、大変残念な事にこのキット発売と前後してゼネプロは**立体物の商品化を止めてしまった**為、発売されませんでした。以後も魅力的なMHが続々登場しているだけに、**残念でなりません。**